

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）担当教員一覧

*印の教員は、2027年3月31日付けで定年退職予定または、2026年度研究指導は行わない者。
**印の教員は、主任指導教員として志望できない者。
2026年3月31日付けで定年退職予定の教員は記載されていない。

<記載事項>

(所属専攻)		☎ 03-5978- (下記☎参照)
(所属コース)		
担 当 教 員	主 な 授 業 科 目	研 究 テ ー マ ま た は 研 究 分 野
(職名)： (氏名)	(博士前期課程における主な授業科目)	(研究テーマ、研究分野)
☎ 03-5978- (連絡先番号)		(連絡先メールアドレス)

2025年6月1日現在

ライフサイエンス専攻 Life Sciences		☎ 03-5978- (下記☎参照)
生命科学コース Biological Sciences		
担 当 教 員 Position Name	主 な 授 業 科 目	研 究 テ ー マ また は 研 究 分 野
教授 植村 知博 Professor UEMURA Tomohiro ☎ (5713)	植物細胞生物学	【細胞膜機能学】真核細胞のオルガネラの膜ダイナミクスと生理機能を明らかにする。ライブイメージングによる観察によって研究を進める。 e-mail: uemura.tomohiro@ocha.ac.jp
教授 清本 正人 Professor KIYOMOTO Masato ☎ 0470-29-0838	海洋生物学特論	【発生生物学】軟皮動物を材料に、初期発生における細胞の分化や形態形成のメカニズムを明らかにする。具体的には、ウニ胚の骨片形成細胞の分化における誘導因子や細胞間の相互作用について、培養系を使って研究している。 e-mail: kiyomoto.masato@ocha.ac.jp
教授 島田 智 Professor SHIMADA Satoshi ☎ (5356)	植物系統進化学	【多様性生物学】どの様な生物種がどれほどの地球上に存在しているのか？そもそも、どうやって生物は多様化してきたのか？という生物多様性に関する素朴な疑問を明らかにしたいと考えている。 e-mail: shimada.satoshi@ocha.ac.jp
教授 千葉 和義 Professor CHIBA Kazuyoshi * ☎ (5370)	分子発生学	【細胞・発生生物学】減数分裂や受精、初期発生過程において、細胞内外の情報がどのように伝達され、発生が制御されているのかについて研究している。 e-mail: chiba.kazuyoshi@ocha.ac.jp
教授 服田 昌之 Professor HAITA Masayuki ☎ (5579)	進化発生学特論	【進化生態遺伝学】海洋動物の進化史を遺伝・生態の側面から明らかにする。サンゴ礁生物の多様性やサンゴ礁修復技術についても研究している。 e-mail: hatta.masayuki@ocha.ac.jp
教授 由良 敬 Professor YURA Kei ☎ (5514)	生命情報学特論	【生命情報学】ゲノム塩基配列、タンパク質立体構造座標、タンパク質などの相互作用情報が膨大に収集されるようになった。これらの情報を利用して、コオロギなどの昆虫がどのように進化してきたのかを、計算生物学的に明らかにしていくことを目指す。 e-mail: yura.kei@ocha.ac.jp
准教授 近藤 るみ Associate Professor KONDO Rumi ☎ (5372)	集団遺伝学	【ゲノム進化・進化遺伝学】生態や行動の多様性が生じるしくみを分子レベルで理解することを目的として、ショウジョウバエをモデル生物に用いて研究している。 e-mail: kondo.rumi@ocha.ac.jp
准教授 佐藤 敦子 Associate Professor SATO Atsuko ☎ (5303)	進化発生学特論	【発生進化学】生物の発生が環境に应答してどう変化し、どう進化するのか。大量データ解析と発生進化学的手法を用いて解明する。 e-mail: sato.atsuko@ocha.ac.jp
講師 岩崎 貴也 Lecturer IWASAKI Takaya ☎ (2604)	植物保全生態学	【植物進化多様性科学】野生植物の多様性を形成した進化史、そして現在の多様性を維持している生態メカニズムの解明を目的として、様々な野生植物を用いた研究を進めている。特に生物の分布に着目した生物地理学をベースに研究を展開している。 e-mail: iwasaki.takaya@ocha.ac.jp
助教 毛内 弘 Assistant Professor MONAI Hiromu ** ☎ (5303)	細胞生理学	【生体組織機能学】脳が生きているとはどういうことか？生きた脳組織が機能する基礎原理について、非シナプスの相互作用の観点から解明を試みている。 e-mail: monai.hiromu@ocha.ac.jp

2025年6月1日現在

☎ 03-5978- (下記☎参照)

ライフサイエンス専攻 Life Sciences			
食品栄養科学コース Food and Nutritional Sciences			
担 当 教 員 Position Name		主 な 授 業 科 目	研 究 テ ー マ または 研 究 分 野
教授 : Professor ☎ (5680)	赤松 利恵 AKAMATSU Rie	栄養教育学特論	【健康教育（栄養教育）】人の食行動に関わる要因について、心理社会的観点から検討し、よりよい生活習慣を獲得するための方法を研究している。 e-mail: akamatsu.rie@ocha.ac.jp
教授 : Professor ☎ (5474)	飯田 薫子 IIDA Kaoruko	生活習慣病医学・疫学	【応用栄養学、生活習慣病学】生体内における糖や脂質の代謝機構について生活習慣病との関連性から研究を行っている。 e-mail: iida.kaoruko@ocha.ac.jp
教授 : Professor ☎ (5750)	市 育代 ICHI Ikuyo	臨床栄養学特論	【病態制御学（臨床栄養学）】脂質の代謝異常は生活習慣など様々な疾患の発症に関わっている。病態における脂質の変動と疾病との関連について研究を行っている。 e-mail: ichi.ikuyo@ocha.ac.jp
教授 : Professor ☎ (5448)	須藤 紀子 SUDO Noriko	公衆栄養学特論	【公衆栄養学】災害時の食生活支援のための体制整備に関する研究を行っている。 e-mail: sudo.noriko@ocha.ac.jp
教授 : Professor ☎ (5760)	新田 陽子 NITTA Yoko	調理科学特論	【調理学、食品物性学、酵素学】食品物性や生理活性アミンについての研究を行なっている。 e-mail: nitta.yoko@ocha.ac.jp
教授 : Professor ☎ (5757)	森光 康次郎 MORIMITSU Yasujiro	食品機能学特論	【食品機能化学】近年、食品起源の生体調節機能性因子が注目され、その重要性が広く一般にも認識されるようになった。身近となった抗酸化物質から生活習慣病予防効果を示しうる食用植物由来の生理活性物質について、有機化学的・生化学的研究を中心に行っている。 e-mail: morimitsu.yasujiro@ocha.ac.jp
准教授 : Associate Professor ☎ (5752)	清水 誠 SHIMIZU Makoto	栄養化学特論	【分子栄養学】運動や老化、栄養などに関わる生体内分子や機能性食品成分に着目し、これらの機能や相互作用に関する研究を行っている。 e-mail: shimizu.makoto@ocha.ac.jp
講師 : Lecturer ☎ (5943)	小林 正樹 KOBAYASHI Masaki	生体制御学特論	【基礎栄養学】栄養環境や加齢・老化が身体に及ぼす影響に関して、主に動物や細胞を用いた研究を行っている。 e-mail: kobayashi.masaki2@ocha.ac.jp
講師 : Lecturer ☎ (5754)	佐藤 瑤子 SATO Yoko	フード・サービス・マネジメント特論	加熱調理・大量調理に関する予測的研究 e-mail: sato.yoko@ocha.ac.jp
助教 : Assistant Professor ☎ (5753)	野田 響子 NODA Kyoko	食品加工貯蔵学特論	食品の加工貯蔵に関する化学 e-mail: noda.kyoko@ocha.ac.jp
遺伝カウンセリングコース Genetic Counseling			
教授 : Professor ☎ (5587)	三宅 秀彦 MIYAKE Hidehiko	臨床遺伝学特論	【臨床遺伝医学、遺伝カウンセリング学】出生前診断を中心とした遺伝に関わる問題に対して、遺伝カウンセリングや教育、社会啓発に関する研究を行っている。 e-mail: miyake.hidehiko@ocha.ac.jp
講師 : Lecturer ** ☎ (5742)	佐々木 元子 SASAKI Motoko	遺伝カウンセリング学	【遺伝カウンセリング学、遺伝教育】遺伝カウンセリング全般に対する問題と、遺伝教育や社会啓発に関する研究を行っている。 e-mail: sasaki.motoko@ocha.ac.jp